



学校だより

令和5年1月号
発行 和田小学校
TEL 72-0138

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

このたび能登半島地震により被災された方々並びに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

始業式では、被災された方々を思い、全校児童とともに1日も早い復旧・復興を願って黙とうを捧げました。津波警報を受け、大半の児童が家族とともに高台に避難をしたと教えてくれました。

昨秋、津波想定避難訓練を実施しましたが、改めて正確な情報の把握に努め、安全に避難できるよう準備・訓練することの重要性について話をしました。学校では、今回の地震を教訓として安全対策の再点検を行うとともに、防災学習の充実に努めていきたいと考えています。



高台への避難訓練

夢や目標に向かって挑戦を

次に、新年の節目にあたり夢や目標を立て努力することについて、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の目標達成シートを取り上げて話をしました。

大谷選手が高校1年生の時に、プロ入りの目標を達成するために、①目標を書き出す、②達成するために大事なことを書き出す、③達成に向け日々努力していくミッションを書き出す、ということをしています。大きな偉業の陰で「日々何をするか」を明確に、粘り強く積み重ねる強い意志があったことが想像できます。彼の言葉「先

入観が可能を不可能にする」を引用し、やる前から無理だと決めつけていては何も成すことはできない、失敗も糧にしながら挑戦することが大切であるということをお伝えしました。



先日、その大谷選手から全国の小学校に贈られたグローブが届きました。大切に使用させていただくとともに、大谷選手の思いを受けて、自分の夢に向かって粘り強く努力をしてほしいと思います。

節目を成長点にして

年始に平成25年度卒業生が集う「タイムカプセル開き」に立ち会いました。容器には10年後に再会を期し開封する旨が記されていました。懐かしい品々には「10年後の自分」に宛てた手紙も含まれていました。



懐かしい仲間と

どの手紙にも、自分の現在地や心境、そして未来の自分へ向けた期待やエールが綴られていました。立派な大人になった卒業生たちが、互いの近況を交流し照れ臭そうに讚え合っている姿が印象的でした。その光景を目の当たりにし、節目をつくりぐんぐん伸びる竹のように、強くしなやかに子どもたちを育てていきたいと感じました。

学びの成果や感謝を伝える

学習発表会を開催しましたところ、多くの方々にお越しいただきました。子どもたちは緊張しながらも張り切って発表し、また1つ大きく成長したように思います。

発表後の感想交流も活発で、人の話をよく聞き、一生懸命に取り組む人に対して共感や反応を返すという優しい態度も身に付いてきていると感じました。上級生から下学年に向けた感想に、「昨年、自分たちはお店の見学に行けませんでした。発表では、よく観察しているなど感じました。詳しく調べてありとても勉強になりました。」とありました。制限の多かったコロナ禍を乗り越え、ようやく本来の体験や交流学习ができるようになり、その有難さを改めて実感しています。

学習を支援してくださった営農組合代表の方からは「子育てから高齢者のこと、そして地域の自然や産業のことなど、みんなでよく考えていて頼もしく感じた。私たちもまだまだがんばらねばと元気がもらえた。」と賛辞をいただきました。他にも、このような感想や応援メッセージをたくさんお寄せいただき、子どもたちの大きな自信や意欲につながったようです。心より感謝申し上げます。



1年 わだ小1年なんでも研究室



2年 わだの人とスマイル 2ッコ2コ



3年 スーパーマーケットのひみつ



4年 ニュースザウルス4年



5年 いいとこいっぱい わだへようこそ



6年 わだの魅力を発信しよう

2月の主な行事予定

2日(金)	6年生高浜中体験入学
7日(水)	なわとび記録会
11日(日)	建国記念の日
12日(月)	休日
14日(水)	新1年生体験入学
21日(水)	ノーメディア週間(～27日)
23日(金)	天皇誕生日



学校 HP



学校ブログ